



「電動車両を活用した最新 VPP 実証実験結果とその動向」

概要： 低炭素社会の構築に向けて次世代電力プラットフォームの在り方が議論され、方向性が示されている。一方、電動車両の普及に従いその充電方法および車両駆動用電池の調整能力に着目した VPP が注目を浴び、各種の実証実験が行われている。今後のスマートなエネルギー社会の構築には、この次世代電力プラットフォームの社会実装が VPP を含んだ多数のステークホルダとの整合が取れていることが必要である。

本フォーラムでは電動車両を活用した最新 VPP 実証実験の結果を電力側とクルマ側から発表し、双方の観点での具体的な成果、課題を共有し、今後の社会実装に向けたソリューションの方向付けの場としたい。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時： 2021 年 1 月 21 日 (木) 13:00~17:00

会場： ルーテル市ヶ谷センター 大会議室 〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-1
市ヶ谷駅 (JR 総武線) より徒歩 7 分, 市ヶ谷駅 (東京メトロ南北線、有楽町線) より徒歩 2 分

https://www.iee.jp/wp-content/uploads/honbu/31-doc-honb/lutheran_map.pdf

なお、本フォーラムは会場とオンラインとのハイブリッド開催といたします。

プログラム：		司会進行	八太 啓行 (電力中央研究所)、立花 武 (トヨタ自動車)	
開会挨拶	13:00	13:05	B 部門	新エネルギー・環境技術委員会委員長 加藤 丈佳 (名古屋大学)
1	13:05	13:30	九州 V2G 実証事業への取組みについて	見山 雅英 (九州電力)
2	13:30	13:55	Vehicle Grid Integration の社会実装に向けた取組み	村井 謙介 (日産自動車)
3	13:55	14:20	EV を含む需要家側蓄電池を活用した周波数制御技術に関する取組みについて	芦谷 武彦 (関西電力送配電)
4	14:20	14:45	Honda eMaaS とレジリエンス~ホンダモバイルパワーパックの取組み~	岩田 和之 (本田技術研究所)
休憩	14:45	14:55	休憩	
5	14:55	15:20	東京電力グループによる V2G 実証事業の取組み	小林 直樹 (東京電力パワーグリッド)
6	15:20	15:45	PHV 参加の P2P 電力取引実証実験について	木村 和峰 (トヨタ自動車)
7	15:45	16:10	e モビリティを核としたスマートシティ・プラットフォーム構築に向けて	太田 豊 (大阪大学)
	16:10	16:15	パネルセッション設営	
			モデレータ紹介	堀 洋一 (東京大学)、横山 明彦 (東京大学)
	16:15	16:55	パネルセッション	
閉会挨拶	16:55	17:00	D 部門	自動車技術委員会委員長 貝塚 正明 (本田技術研究所)

テキスト： 今回のフォーラムテキストは発表者が許容したスライドを集めたスライド集として事前にアップロードしますので参加者はダウンロードしていただきますようお願いいたします。

参加費： 現地参加者もオンライン参加者も同額とします。

電気学会会員(正員)、自技会会員 ¥5,000- (税込) 電気学会非会員(一般)、自技会非会員 ¥10,000- (税込)
電気学会会員(准・学生員) ¥2,000- (税込) 電気学会非会員(学生) ¥4,000- (税込)

申込方法： ホームページからのお申込み：<https://www.iee.jp/blog/forum/> 締切 1 月 14 日(木)

(会場参加者は定員 300 名に達し次第、締め切らせていただきます)。

参加費支払い方法： 現地参加者は、当日に現金でお支払い願います。領収書は、原則としてフォーラム当日の日付で会場渡しとなりますが、その他のご指示がある場合は申込時にご連絡ください。オンライン参加者は事務局から請求書を郵送しますのでそれでお支払いお願いいたします。

主催： (一社) 電気学会 電力・エネルギー部門 新エネルギー・環境技術委員会
(一社) 電気学会 産業応用部門 自動車技術委員会

協賛： (公社) 自動車技術会 (一社) 電気学会 次世代自動車用車載・インフラ電源システム調査専門委員会